

令和2年度（2020年度）八王子市立小学校使用教科用図書調査研究報告書（選定資料作成委員会）

種目 家庭（1/1枚目）

調査の観点	発行者名 東京書籍	開隆堂
<p>1 内容 (1)学習指導要領に示された各学年の目標及び内容の押さえ方に対して配慮しているか。 (2)児童の発達段階に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) ・学習指導要領の「家庭科の目標および内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に従い、基礎的・基本的事項を適切に取り上げている。 ・題材の初めに家庭科の見方・考え方の視点を意識させる「家庭科の窓」が置かれている。</p> <p>(2) ・基礎的・基本的内容から応用へと児童の発達に応じて系統的に配列している。 ・成長の振り返りとこれからの学習の道筋では、4年生までの学習との関連を示している。 ・5年生で学んだ技能を6年生で再度使い、より確実な定着が図れるよう配慮している。 ・自己の成長を感じられるように巻頭に「成長の記録」、途中に「5年生のまとめ」、巻末に「2年間のまとめ」を配置し学習の振り返りができる。</p>	<p>(1) ・学習指導要領の「家庭科の目標および内容」「指導計画の作成と内容の取り扱い」に従い、基礎的・基本的事項を適切に取り上げている。 ・家庭科の見方・考え方の視点を示し、実践的、体験的な活動を通して生活をよりよくしようとする資質、能力が育まれるよう配慮している。</p> <p>(2) ・基礎的・基本的な知識や技能に関する内容が的確に記述され、易から難へと確実に習得できる。 ・例えば、5年生最初の調理実習では、湯をわかしてゆでる調理題材を細分化して構成、配列し、調理の基礎・基本の定着を図れるように工夫している。 ・技能面の写真は、詳細かつ分かりやすく表現している。 ・巻末に「2年間の振り返り」を配置し、中学校への学びのつながりを意識させている。</p>
<p>2 構成上の工夫 (1)重点調査項目 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け配慮しているか。 (2)各領域の分量について児童の発達段階を十分に配慮しているか。</p>	<p>(1) ・「話し合おう」「調べよう」「やってみよう」「考えよう」「深めよう」の活動コーナーがあり、主体的・対話的な学びとなるよう工夫をしている。 ・「プロに聞く」「日本の伝統」「発展」「資料」のコーナーがあり、深い学びへとつなげている。</p> <p>(2) ・分量は、A4版で145ページ、5年生8単元、6年生7単元で15単元ある。 ・「生活を変えるチャンス」のコーナーは、自分の生活をよりよく変える実践例を5つ掲載しており、分量としても、児童の発達段階を考慮している。 ・調理実習や製作等の1つ1つの作業が写真とともに細かく書かれていて、1ページの情報量が多い。</p>	<p>(1) ・「参考」のコーナーに別の方法や、発展的な内容を掲載している。 ・「なぜ調理をするのか」「なぜぬうのだろうか」という課題が学習の始めにきていることで、課題の追求、課題の解決をおこなう探究の過程に取り組めるような工夫をしている。</p> <p>(2) ・分量は、AB版でA4版より縦の長さが4cm短い。137ページ、5年生11単元、6年生9単元、計20単元ある。学習内容が細かく分かれている。 ・チャレンジコーナーの課題がステップ1～5に細かく分かれていて、課題例の内容が充実している。 ・1ページの情報量が適当で、必要な情報がまとまっている。</p>
<p>3 ユニバーサルデザインに関する配慮をしているか。 (1)児童にとって読みやすい表現であるか。 (2)印刷、写真、挿絵、図形等が見やすく、分かりやすいか。</p>	<p>(1) ・単元導入のページには「学習の流れ」を示し、見通しを立てやすくしている。単元ごとの色分けが効果的である。 ・学習のポイントや課題となる点について、キャラクターを活用し吹き出しで書いてある。児童の視点に立っての吹き出しが多く、親しみをもって学習することができる。 ・ユニバーサルデザイン教科書体(字形を判別しやすく、読み間違えにくいフォント)を採用している。 ・左利き児童への実習、製作時の対応が掲載されている。一つの実習を見開きで概観することができる。 ・すべての大題材を同じ構造(導入の構造・ステップ構造)で書いており、学習の見通しが立てやすいような工夫をしている。</p> <p>(2) ・A4判を用いており、イラスト、写真、挿し絵等も大きく、情報量が多い。 ・巻末に「調理実習技能」「製作実習技能」として、各実習の技能について大きく写真を用いて分かりやすく説明している。 ・グラフの線の色や形を変えて読みやすくする等、カラーバリアフリーの配慮を実現している。 ・作業する手のアップの写真や左利きの例もとりあげている。 ・巻末の「いつも確かめよう」では、手をのせて練習できるよう実寸大サイズで掲載している。</p>	<p>(1) ・単元の導入のページには、「学習のめあて」のチェック項目があり、児童は学習のめあてを容易に理解することができる。 ・巻末に家庭科の用語を英語表記し、一覧にまとめた項目がある。 ・文の意味がつかみやすいように、1つの単語が行をまたがないように調整してある。 ・ユニバーサルデザインフォントや見やすい色使いの配慮がある。 ・左利き児童への実習、製作時の対応を掲載している。一つの実習を見開きで概観することができる。 ・すべての大題材を同じ構造(導入の構造・ステップ構造)で書いており、学習の見通しが立てやすいような工夫をしている。</p> <p>(2) ・写真やイラストを多く用いた構成となっており、実習の際には、机上に置き参考にすることができる。 ・実習や製作などの手順が大きく横流れのデザインになるように統一している。 ・実物大の写真を掲載している。カラーバリアフリーの配慮を実現している。 ・製作では写真で見えない部分をイラストで表現していて、仕組みがわかりやすい。作業する手のアップの写真や左利きの例もとりあげている。</p>
<p>4 使用上の便宜 (1)教員にとって、使いやすくなるための配慮がされているか。 (2)児童が家庭学習を行う際の配慮がされているか。 (3)地域性に対して配慮しているか。</p>	<p>(1) ・2年間の指導計画を見通せるようになっている。写真やイラストが大きくて見やすく、色使いも工夫している。 ・インターネットで技能動画が見られるデジタルコンテンツがある。大題材を3つのステップで展開し、それぞれのめあてを分かりやすく示している。 ・様々なマークを使って目を引き、ポイントが分かりやすい。教科書内にワークシートがある。</p> <p>(2) ・「やってみよう」「生活を変えるチャンス」など、家庭生活の中で実践したくなる提案がある。 ・調理や裁縫などの手順が写真やイラストで分かりやすく解説している。家庭科独特の語句をタイミングよく解説している。</p> <p>(3)和食や郷土料理などを適切に取り上げている。「日本の伝統」マークで分かりやすく、児童の関心を引く。</p>	<p>(1) ・2年間の指導計画が見通せるようになっている。写真やイラストを見やすくする工夫をしている。 ・QRコードがあり、学習場面に合わせたコンテンツが使いやすい。 ・単元の始まりが「なぜ〇〇するのだろうか」と問いの形になっている。最近の家電製品を「プログラミング」という視点で取り上げ、家事の「段取り」について紹介している。教科書内にワークシートがある。</p> <p>(2) ・ページ下に「一口メモ」があり、家庭科用語の解説や本文を補足している。「チャレンジコーナー」や「生活に生かそう」などがあり、家庭での実践意欲が高められる。 ・調理や裁縫の手順を写真やイラストで分かりやすく解説している。「野菜の切り方」が裏表紙にあり確認し易い。</p> <p>(3)日本の伝統文化について紹介している。和食などを扱うところに「伝統」マークがついている。</p>
<p>5 その他 ※各教科ごとで、伝えたいことがあれば記載する。なければ記載しなくてよい。</p>		